



飲酒運転交通事故の発生状況

平成29年9月末

～飲酒運転 しない させない 許さない～

1 発生状況

平成29年9月末現在の飲酒運転交通事故（原付以上の人身事故）は、死亡事故は1件1人で、前年同期と比較して2件2人の減少となりましたが、発生件数及び負傷者数は増加しました。

【 飲酒運転交通事故の発生状況 】

（平成29年9月末概数）

区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	59	1	1	12	66	78
前年	43	3	3	4	49	53
増減	16	-2	-2	8	17	25
率	37.2	-66.7	-66.7	200.0	34.7	47.2

2 自治体別発生状況 （平成29年9月末概数）

平成29年9月末現在の飲酒運転事故の発生状況については、発生地別では宮城野区が9件（構成率15.3%）で最も多く、第1当事者の居住地別では、青葉区、宮城野区及び石巻市が各6件（構成率10.2%）と多くなっています。

発生地			
自治体名	件数	前年比	構成率
宮城野区	9	5	15.3
若林区	3	1	5.1
太白区	3	0	5.1
泉区	6	2	10.2
石巻市	7	4	11.9
塩釜市	2	1	3.4
気仙沼市	2	2	3.4
白石市	0	-1	0.0
名取市	0	-1	0.0
角田市	2	2	3.4
多賀城市	2	1	3.4
岩沼市	0	0	0.0
登米市	2	-1	3.4
栗原市	1	-1	1.7
東松島市	0	0	0.0
大崎市	4	2	6.8
富谷市※	2	2	3.4
蔵王町	0	0	0.0
七ヶ宿町	0	0	0.0
大河原町	0	-1	0.0
村田町	0	0	0.0
柴田町	0	0	0.0
川崎町	0	0	0.0
丸森町	0	0	0.0
亘理町	1	0	1.7
山元町	0	-1	0.0
松島町	0	-1	0.0
七ヶ浜町	0	-1	0.0
利府町	1	0	1.7
大和町	0	-1	0.0
大郷町	1	1	1.7
大衡村	1	1	1.7
色麻町	1	1	1.7
加美町	1	1	1.7
涌谷町	1	1	1.7
美里町	0	-2	0.0
女川町	0	0	0.0
南三陸町	0	0	0.0
高速等	0	-2	0.0
計	59	16	100.0

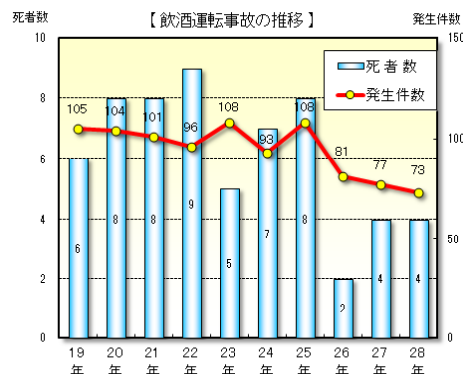
※富谷町を含む

第1当居住地			
自治体名	件数	前年比	構成率
宮城野区	6	2	10.2
若林区	2	2	3.4
太白区	4	0	6.8
泉区	5	-1	8.5
石巻市	6	3	10.2
塩釜市	2	2	3.4
気仙沼市	2	2	3.4
白石市	0	-1	0.0
名取市	1	-1	1.7
角田市	2	2	3.4
多賀城市	1	0	1.7
岩沼市	0	0	0.0
登米市	2	0	3.4
栗原市	1	0	1.7
東松島市	0	0	0.0
大崎市	5	3	8.5
富谷市※	1	0	1.7
蔵王町	0	-1	0.0
七ヶ宿町	0	0	0.0
大河原町	0	0	0.0
村田町	0	0	0.0
柴田町	1	0	1.7
川崎町	0	0	0.0
丸森町	0	0	0.0
亘理町	1	1	1.7
山元町	0	-1	0.0
松島町	1	1	1.7
七ヶ浜町	2	0	3.4
利府町	1	-1	1.7
大和町	1	1	1.7
大郷町	1	0	1.7
大衡村	0	0	0.0
色麻町	0	0	0.0
加美町	2	2	3.4
涌谷町	0	-1	0.0
美里町	1	-3	1.7
女川町	1	1	1.7
南三陸町	0	0	0.0
県外等	1	1	1.7
計	59	16	100.0

3 飲酒運転事故の発生推移 (基礎データ平成19年～平成28年)

飲酒運転事故の発生推移を見ると、発生件数、死者数ともに平成19年までは大幅な減少傾向にありましたが、20年以降は、発生件数の減少は鈍化しており、死者数は下げ止まり状態で増減を繰り返しています。

平成28年は、死者数は前年と同数となったものの、発生件数(73件)は記録の残る昭和42年以降最少となりました。



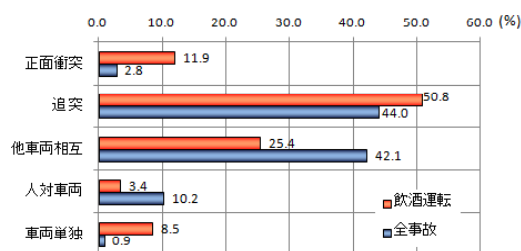
4 飲酒運転事故の発生特徴等 (基礎データ平成29年9月末概数)

(1) 追突事故の発生が多い

事故類型別では、追突が最も多く、約半数(59件中30件、50.8%)を占めました。

また、自車の走行車線を逸脱しての正面衝突や車両単独事故の割合も高くなっています。

【事故類型別発生状況(構成率)】

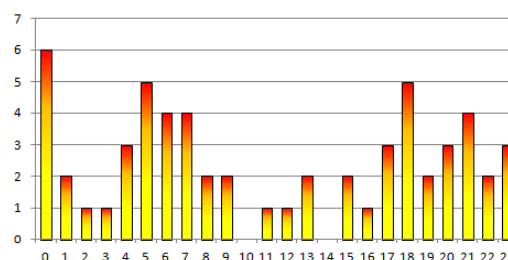


(2) 深夜と明け方、夕方の発生が多い

時間別では、深夜の0時台(6件)が最も多く、次いで5時台と18時台(各5件)に多発しました。

昼夜別(日の出、日の入り時刻を基準)では、週末の土・日曜日は夜間の発生が69.2%(26件中18件)を占めたのに対し、月～金曜日は昼間の発生が60.6%(33件中20件)を占めており、二日酔いによる飲酒事故にも注意が必要です。

時間別飲酒運転事故発生件数



(3) 日曜日の発生が多い

曜日別では、日曜日が20件で最も多くなりました。6時間ごとの時間帯別に分析すると、特に日曜日の0～6時に9件と多発しました。そのほか、水曜日の18～24時と木曜日の6～12時に6件、日曜日の18～24時に5件と発生が多くなりました。

(4) 40代の飲酒運転者が多い

第1当事者(飲酒運転者)の年代別では、40歳代が14人(23.7%)で最も多くなりました。また、飲酒運転者の免許経過年数は、10年以上が約7割(41人、69.5%)を占めました。

※高齢者は65歳以上

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	計	うち高齢者
人数	1	11	10	14	13	8	1	1	59	6
構成率	1.7	18.6	16.9	23.7	22.0	13.6	1.7	1.7	100.0	10.2
うち死亡事故				1					1	

(5) 飲酒運転事故は死亡事故率が高い (基礎データ平成28年中)

飲酒運転事故の死亡事故率(事故件数に占める死亡事故件数の割合)についてみると、飲酒なし事故と比較して、死亡事故率が約6.9倍に達しており、飲酒運転は死に至る(死亡事故となる)危険性が極めて高いことが分かります。

【交通死亡事故率比較】

